

## 2020年度前期オンライン授業に関するアンケート（総合教育センター・学修）【自由記述（講義系）抜粋】

## オンライン授業を実施してよかった点（講義系：総合教育センター・学修支援センター）

## （利便性・反復受講）

1	"まじめな学生はビデオを繰り返し見たり、途中でとめてノートをしっかりとっていたようだ。ビデオのアクセス回数、視聴時間がかかり長い学生もいた。
2	学生が復習の為に繰り返し授業動画を視聴することができること。
3	講義動画を見直した学生が多くおり、授業内容の理解度・習熟度が例年より高かった。
4	教職の場合、5コマ目に配置されることが多いので、学生にとっては受講しやすかったと思われる。
5	自分のペースで受講できるため、周りの雰囲気にならなず（例えば、友人とのおしゃべりやゲームなどをすることなく）集中力を保って学習することができた（学生のアンケートよ

## （授業の質向上）

1	毎回の授業で実施した確認テストを、自習問題の形式で期末考査の前に再掲載したところ、まじめな学生はしっかり取り組んでいた。
2	対面はできなくても、ライブでコミュニケーションがとれたこと
3	対面授業のときより、深い議論が掲示板で行えたこと。それを講義にも反映できたこと。
4	対面授業のときより、脱落する学生が少なかったこと。
5	課題の回答内容をよく調べて提出している。
6	内気な学生でも質問しやすい環境が整っていたため、個別の質問に丁寧に答えることができたこと。
7	対面よりも学生への個別的な対応が細やかかつ臨機応変にできた。
8	基本的にリアルタイムで実施したが、学生の理解度や反応を把握するにあたり、挙手機能やチャット機能があることで、対面授業と比較してより容易にできた場面が少なくなかった。50名ほどの対面授業で個別の学生に発言させるよりも、こうした機能を利用した方が学生にとっては楽な気持ちで参加できるということだと思う。

## （教員にとって）

1	これまで知らなかった資料作成や動画編集の技術が身についた点は良かったです。
2	コロナ感染防止は当然のこと、これまでの対面授業をいかにオンデマンドに落とし込むかという自身の勉強にもなった

**オンライン授業を実施しての問題点や課題（講義系：総合教育センター・学修支援センター）**
**（視聴実態の把握・出席管理）**

1	授業の厳密な出席管理は現実的に不可能。オンライン授業で出席管理に時間を費やすのが苦痛なので、授業の出席管理は不要というルールを設けてほしい。
2	web class に学生が自分自身で授業の出席を登録、管理するシステムを組み込んでほしい。

**（受講・通信環境）**

1	日程や課題、試験など重要事項については、なるべく早い段階で説明し、繰り返し伝える必要がある。
2	学生の通信環境はそれぞれに個別の状況があるので、授業期間を通して細やかな配慮が必要である。
3	通信不安定や端末の不具合を完全に防ぐことはできないことを見越した体制を整備することが不可欠。マイクロソフト側で不具合が発生したため Teams による授業を中断せねばならないことが一度あったが、その時点では代替措置が不明であったため別の日に補講を実施した。他の会議アプリの備えがあれば、その場で切り替えることもできたことと思う。
4	個別の学生の通信状況や端末の不具合発生頻度は心配するほどではなかったと思うが、やはり不具合が起こる可能性は教員側も含めて織り込んだ上で授業環境を準備する必要がある。マイクロソフト側の異常により Teams が利用できなくなったことが一度あったが、その際は非常勤講師として個人的に用意していた ZOOM アカウントを利用せねばならなかった。
5	学生からは、特に後半以降、ディスプレイの見過ぎで目が痛いであるとか、ずっと家にこもって受講をすることが辛いといった意見が多く挙げられた。

**（学生の反応・理解度の把握）**

1	掲示板などに参加してくれる学生が増えなかったこと（匿名でないので使いたくないとの声もあった）。
2	学生とのコミュニケーションがとれない
3	学生一人一人の学習状況、習熟状況がわかりにくい。
4	学生の受講の様子かわからないため、アンケートで難易度や進捗について学生に尋ねたり、小テストで学生の理解度を測ったりしていましたが、実際のところどれくらいの進捗で講義を行うのが適切かわかりませんでした。
5	学生の理解度が確認できない。自分の力をもって課題に取り組んでいたか確認できない。

**（教材作成の技術的問題・教員負担の増大）**

1	教材作成に大きな労力と長い時間がかかること。
2	教材作成の負担
3	教材の作成に時間がかかりすぎる事。

**（成績評価・試験）**

1	学生間の親睦を図ることができなかった。ただ、知識を学ぶだけでなく、教職課程の「仲間」を作ることができなかった。また、教員もそれぞれの学生がどういう人なのかを知る機会が限定されていた。これは、3年次以降、大きく影響してくるのではないかと思う。
---	--

**オンラインでの期末試験実施の問題点（講義系：総合教育センター・学修支援センター）**
**（不正防止のための工夫や作題上の問題点）**

1	オンライン試験だと採点や成績入力が非常に楽なので是非今後も実施してほしい。問題点は、一斉に学生が web class にアクセスするので通信環境に問題がある学生が不利益を被ることである。可能であれば、通信環境に問題がある学生を事前に調査して、その学生達限定で、試験日に大学の情報処理室を開放し、試験監督をつけて試験を実施してほしい。
2	センター試験のような、数値入力型の問題にせざるを得ない。互いに相談して答えるなど、学生を疑いたくはないが、不正をしようと思えばできる状況。

**（学生間の連絡）**

1	授業はオンラインで実施しても試験だけは大学で実施すべきである。公平・公正な評価ができない。
---	---

**（通信環境の問題）**

1	通信機器の不具合も含めて、大学からの学生に対する丁寧なフォローがなされているのか疑
1	実施日時時の連絡に気づかずに受験し損ねる学生がおりました。
2	通信状況が悪い学生への対応
3	今回このクラスには該当者がいなかったが、他のクラスで通信状況が悪く追試験になった学生がいた。通信状況が良くない学生を試験実施前に調査し、試験実施日に大学の情報処理センターを開放して、その場で試験を受験させてほしい。（当然試験監督付きで）
4	通信環境が安定しない状況で受験すると、正確な点数として反映されないトラブルがあった。

**（LMSの問題・教員負担の増大）**

1	入力操作に時間がかかり、時間内で問題が終わらない学生が多かった。
1	レポート数が多く採点に非常に手間と時間がかかること。
2	画面を見ての採点だったので、記述式の場合、非常に採点しづらかった。
3	WebClass のレポート機能は使いやすかった。

### オンライン授業の教育効果についての意見（講義系：総合教育センター・学修支援センター）

#### （評価できる点）

1	時間と場所を選ばずに、勉強ができるため、効率的である。
2	繰り返し視聴できる点は、意欲の高い学生にはよいと思う
3	学生の取り組み方の一生懸命さは、解答等の内容から感じられます。
4	知識を得るためだけであれば、それなりの教育効果があると思う。
5	当初の予想よりは教育効果があったように思うが、授業内容によって教育効果に大きな差があったように感じる。
6	体調不良や感覚過敏等の理由で、教室で授業を受けることが苦痛な学生にとっては、周りの環境に左右されずに授業内容に集中できるオンライン授業は魅力的である。また、自分自身の理解度に合わせて、何度も授業動画を視聴出来ることは大きなメリットである。
7	振り返り学習の効果はあるとおもいます
8	学生の習熟度と理解度は対面授業以上に高かったように思う。その理由は、①講義内容の見直し②自分のペースでの受講③質問のしやすさといったことが要因としてあるように考える。また、期末アンケートの内容によると、授業の内容を踏まえて、自分の興味・関心に基づいて調べ物をしたり、授業内で紹介された作品を全編見直してみる、あるいは同じ作者の作品を調べて自主的に鑑賞してみたりなど、知的好奇心を以て主体的に学ぶ様子が窺えた。このような声は、例年より数多くの学生から聞かれたものであり、これも上記①②の要因によって、より深い習熟・理解に至っている結果ではないかと推測する。結論として、オンライン授業の教育効果は高いものであり、有効な方法であると考えている。
9	対面授業ではないので、学生の反応がつかめないというデメリットはありますが、可能であれば Teams を使用した個人面談や少人数でのフォローアップの授業、対面式の試験実施を組み合わせれば、オンデマンド授業を継続してもよいのではないかと思います。

#### （二極化の顕在化）

1	マイペースで勉強できる学生にとっては、問題なく学んでいるように思うが、学修支援が必要な学生に対しては、対面で手厚いケアが必要である。このままでは、退学者や単位不認定者が増えていくのではないかと心配している。
2	勉強習慣が身につけている学生には効果的だと思いますが、1人で勉強することに慣れていない学生は辛いのではないかと思います。最後に課題を溜め込んでしまい、収集がつかなくなった学生がいるのではないかと心配になります。
3	二極化ゆえ、やる気のある学生にとっては、成果が上がりやすい

#### （対面授業の重要性）

1	実験・実習を伴う授業だけでなく、それ以外の授業についても対面で指導する機会が必要である
2	効果の有無については、慎重に判断すべき。
3	学生間の交流、意見交換はできなかった。リアルタイム講義でなければ困難かもしれない。

オンライン授業をどのように活用しますか（講義系：総合教育センター・学修支援センター）

（積極的利用）

1	オンライン授業を反転学習のツールとして活用したい。また、授業内容の復習のツールとして学生には活用してほしい。
2	対面授業でも、環境が整ってさえいればオンラインツールの利用は可能なので、将来的には対面授業のなかでこれらのツールを利用できるようになればよいと思う。
3	対面授業の補足資料として活用できるのではないかと思います。
4	受講者数の多い講義系授業についてはオンラインにて実施する。
5	オンデマンド授業の実施。質問等は Webclass のメッセージ機能で受け付ける。質問等のフィードバックは授業動画で行う。

（アーカイブ化・補完的利用）

1	オンライン授業がリアルタイムで受けられなくても、レコーディングビデオがあれば、オンデマンドで受講可能なため、時間の有効活用または教材の流用ができる。
2	対面授業を受けた学生がオンデマンド授業を復習に活用するのは効果があると思います。

## 今後の授業に向けての要望や意見（講義系：総合教育センター・学修支援センター）

## （オンラインの積極利用・制度化）

1	複雑になるが、さまざまなタイプの講義形式を複合していくしかないのではないか。
2	対面があっても人間関係の展開なので、授業形態としては、リアルタイムオンラインと対面式の併用が理想だと思う。オンラインバックアップ体制をより充実していただきたい。
3	オンライン専用で、全国区に広げるのもありか

## （対面授業・対面試験の拡大）

1	学生のためにも教員のためにも一刻も早く対面授業を再開してほしい。
2	後期の期末試験は、コロナ禍が落ち着けば、対面で実施したい。

## （情報共有・サポート体制）

1	状況も変化しているし、初めて体験するような状況で、皆さんも本当に大変だったことと思います。もちろん、先を見通すことが大変難しいことはわかりますが、次年度は、今年度の事も踏まえて、早め早めに方向性を出していただきたいと思います。
2	授業準備に時間を要するので、もっと効率の良い授業資料の作り方の方法が知りたいです。

## （施設設備の充実・LMSの改善）

1	Teams を使っていて不便だと思ったのは、「課題」等が学生からどのように見えているのかが分からなかった事です。どのように操作をするのか、問い合わせを受けた時に困りました。ですので、管理者のアカウントとは別に、仮の学生用アカウントを付与してもらえると助かります。（あるいは、そうしなくても良い方法があれば、教えて欲しいです。）
2	学生の所有する PC のスペックが高くなれば、今回出せなかった課題（衛星画像の処理など）を出せたので、学生の PC 環境の整備に大学として何かして頂きたい。

**前期授業全体を終えての感想（講義系：総合教育センター）**

1	一方通行の形ですが、課題・レポートの内容を理解して、しっかり調べ提出してくれている。しかし、学生の反応が見られないのが残念です。
2	◦最初 Webclass の使い方がよくわからず、非常に困った。着任して間がなかったこともあり、こちらの不手際で学生を混乱させてしまったこともあり、反省している。ただ、1年生ということもあり、予想していたよりも学生は緊張感をもって積極的に授業に取り組んでくれたように感じる。
3	大学の情報サービスセンターや事務室のスタッフの皆様から迅速かつ適切な対応を頂けたので、オンライン授業を行うことが出来ました。心から感謝申し上げます。後期の授業もお世話になります。よろしくお願いいたします。
4	オンライン講義を実施し、最初は戸惑うことも多かったが、情報サービスセンターや教務学生課などのサポートがあって、特に問題なく授業を運営することができた。大学の支援体制が心強く、精神的な負担をそこまで感じることなく前期を終えることができ、ありがたいと思っている。学生の受講状況も安定しており、トラブルは生じなかった。WebClass のシステムは学生にとっても使いやすかったように思う。大学職員のサポートと、学生の協力もあって、無事に遂行できたように実感している。後期も引き続き相互の連携の中で、慎重に授業運営している。
5	リアルタイムで実施したことで、学生の反応が思っていたよりもよく把握できたことは収穫であった。その一方で、学生からの連絡方法には当初かなり戸惑った。WebClassメッセージ、授業時間外の Teams のチャット、Outlook、個人アカウントへのメールなどさまざま、普段使うメール以外の連絡チャンネルについては、何をどのように利用すべきかについて課題が残る。

**前期授業全体を終えての感想（講義系：学修支援センター）**

1	学生と対面していないので手応えを感じるができなかった。
2	学生の二極化が進んだかな
3	生徒はおとなしい（ほとんど発言等しない）。
4	リアルタイムの講義ではないため、学生の生きた声や学習環境の把握が難しい。